

## 科目名：会計概論

対象クラス(専攻)：1学年 医療ビジネス学科 (医療経営専攻)

単位数：1

担当教員名：坂田 誠

授業形態：講義

教材：合格テキスト日商簿記検定3級 Ver11.0

合格トレーニング日商簿記検定3級 Ver11.0

その他レジュメ、オリジナル問題集

教員の実務経験：

会計事務所で3年間勤務。会計帳簿のチェック、税務相談等を行う。

授業内容(実務経験を活かした指導内容)：

簿記検定の授業を通じて、世の中や企業のヒト・モノ・カネの流れと基本的な経営活動を理解する。その他、会計事務所での実務経験を活かし、基本的な経営知識や税知識などの習得も行う。社会人になる上で必要なお金の知識の習得も行う。

また、原価計算を通じて基本的なコスト計算や損益分岐分析などの各種経営分析手法などを習得し、PCスキルと会計知識を身に付けた医療事務職員を目指す。また、本授業は2年次に学習する医療経営士の基礎学習を兼ねている。

到達目標：

- (1) 【実務①】株式会社における日常の会計処理業務(起票・伝票処理など)ができる。
- (2) 【実務②】試算表(日計、週計、月計)を作成することができる。
- (3) 【検定試験】日商簿記検定3級を取得し、同レベルの知識の習得ができる。
- (4) 【管理会計】簡単なコスト計算ができ、損益分岐点の分析ができる。
- (5) 【お金に関する教養】基本的な経済や税の仕組みが理解できる。アルバイトで源泉される所得税の計算ができる。アルバイト所得税の還付申告ができる。
- (6) 【実務③】キャンプや結婚式2次会などの会計(収支)報告書が作成できる。
- (7) 病院経営を学習する上での基本的知識を有している。

評価方法/基準：

上記到達目標の達成状況により評価を行う。評価基準は到達目標に応じて、ルーブリックに示す。

評価対象となる項目

【実務①】 【実務②】 【管理会計】 【お金に関する教養】 【実務1】 【出席率】 【授業態度】

項目別評価「優」が全体の80%以上ならA、70%以上ならB、60%以上ならCとし、それ以外はD評価。

その他、注意事項：

- (1) 電卓(12桁)が必要
- (2) 11月に実施される日商簿記検定の受験を希望する者は、秋休みに試験対策授業を実施する。
- (3) 補習授業について  
単元テストを含め、その日、理解できなかった内容について希望者を対象として補習を実施。  
関連資格 日商簿記初級(ネット試験)、原価計算初級(ネット試験)、日商簿記3級

<授業計画> 会計概論

第1週	会計全般の知識と帳簿記入の基礎知識 簿記の必要性と会計を学ぶ意義について 簿記の原則 取引と仕訳と勘定記入の理解
第2週	簿記の原則 取引の8要素 仕訳と勘定記入の練習
第3週	(1)商品売買取引Ⅰ 3文法と掛取引、手付金、商品券
第4週	(2)商品売買取引Ⅱ 値引き・返品・諸掛り、立替金、補助簿
第5週	(3)現金・預金取引 通貨代用証券・当座預金口座・普通預金口座
第6週	(4)小口現金、クレジット売掛金、手形取引 当座借越、小口現金制度、約束手形
第7週	(5)電子記録債権・債務、その他取引Ⅰ 貸付金・借入金と利息
第8週	(6)その他取引Ⅱ 有形固定資産の取得・売却・賃借、未入金と未払金、修繕と改良
第9週	(7)その他取引Ⅲ 仮払金・仮受金、給与（各種預り金）
第10週	(8)試算表の作成 合計試算表、残高試算表および合計残高試算表の作成方法
第11週	(9)管理会計 コスト計算の手法（簡単な原価計算）
第12週	(9)管理会計1 直接原価計算と損益分岐分析
第13週	(10)企業の決算について～損益計算書と貸借対照表
第14週	演習課題 病院経営にかかるコストの算出
第15週	授業振り返りと習得内容の確認